



12月上旬、3学年の課題研究「ソーシャルビジネス」では、SDGs・ビジネスの視点から「JICAプロジェクト案件の解決に向けた取組の提案」について、英語でポスターセッションをおこないました。当日は授業参観として来校された国際協力機構 JICA 東京の方2名と埼玉デスクの方1名、本校英語科主任、英語科初任者の5名の方に審査をしていただきました。

このポスターセッションは今年で4回目となり、JICAの技術協力プロジェクト、草の根技術協力プロジェクト、民間連携案件など、各グループで興味関心のある案件をHPで調べ、JICAの担当者の方や実施団体、企業、大使館等にインタビューをして考察を深め、「ビジネスとしてこんな取り組みをすれば、社会課題を解決することができるのでは？」という本校の学習の特性を活かした授業実践になりました。スリランカ、トンガ、ミャンマー、メキシコ、クロアチアとバラエティにとんだ、それぞれの国の社会課題の解決に向けた取組の提案について、生徒たちは英語で発表をして、英語で質疑応答をするというオールイングリッシュに緊張しながらも、ポスターを活用して、効果的なプレゼンテーションをおこない、自分たちの思いを相手に伝えるという取組を実践することができました。

